

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:6 事業名:「やまなし・しごと・プラザ」事業費

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小澤アドバイザー	・ユースバンクやまなしに親子で登録している人はいるのか。	山岸課長	いる。
小澤アドバイザー	・ユースバンクやまなしの登録者数について、もっと登録を増やすように努めていく必要があると考える。		
小澤アドバイザー	・ジョブカフェの設置場所について、利用者が行きやすい場所にすれば、もっと利用してもらえるのではないかと考える。		
小澤アドバイザー	・Uターンを考えている人に向けた就職フェアは首都圏では1回か。	山岸課長	・UIターン就職フェアという形では都内で1回。それ以外に成長分野・ものづくり企業合同就職フェアを1回実施しているので、都内では年2回行っている。
村上アドバイザー	・ユースバンクやまなしのPRはどのような方法で行っているのか。	山岸課長	・高校の進路指導の先生が集まる会議に登録票を持って行き、先生から高校3年生への配付を依頼している。それを集めて登録を行っている。
村上アドバイザー	・ユースバンクやまなしの予算はないのか。	山岸課長	・登録をしてもらったアドレスにメールマガジンを送付しているため、予算はない。
村上アドバイザー	・ジョブカフェの利用者で正社員等の職に就きながら相談する人がいるが、何回も転職活動をする人はいるのか。	山岸課長	・就職したが仕事が合わずに転職したいと考える人と、キャリアアップするために転職したいと考える人の2種類がある。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
村上アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 求職者総合支援センターでは住宅、生活保護等の情報提供を行っているとのことだが、利用は多いのか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 生活に困窮されている方もいるので、多くはないが相談を受けている。併せて県や市町村の支援の情報などを提供することにより生活支援を行っている。
村上アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 40歳で利用者をジョブカフェと求職者総合支援センターに分けることについて現場はやりやすいのか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 若者向け、中高年齢者向けなどそれぞれの特性に応じた支援ができると考える。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の予算が増えている要因はなにか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 臨時でシステムのサーバ移設費用を計上している。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> キッズコーナーのリースの予算はいくらか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> やまなし・しごと・プラザは357,600円、サテライトは297,600円。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> キャリアコンサルタントは相談内容を記載した日報をつけているのか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> システムに入力している。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容は分析して整理しているか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 資料にまとめるということはしていないが、システムに登録しているためそれを見ることでキャリアコンサルタント同士が情報を共有している。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 分析すると相談内容の傾向や変化がわかると思うので、県の施策への反映が行えるようにするとよいと考える。 		
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ランチはなぜ山梨大学だけなのか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 大学とのやりとりの中で決めているが、ほかの学校からも要望があれば実施を検討したい。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 山梨大学にはキャリアコンサルタントはいないのか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 山梨大学にもキャリアコンサルタントはいるが、県からも学生に今の就職情報の提供を行い、県内の就職に結びつけていければと考えている。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッションを始めたいきさつは。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 採用試験にグループディスカッションを取り入れる企業が増えてきており、それを反映している。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> PRの方法はどのように行っているのか。学校等に向けて周知しているのか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> 学校にも周知を行うと共に、県のホームページ、就職サイト等を使用して広報している。
小ロアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> セミナーの参加者を増やすためにも、PR方法を検討した方がよいと考える。 		

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者数が減少しているがその原因はなにか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用情勢の改善や就職活動の早期化、インターンシップの普及によりインターンシップから直接就職に繋がるようになったこと、インターネットによる求人検索が普及したことにより来所せず就職ができるようになったことなどが原因と考えている。
小澤アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生向けの就職面接会が1回で、参加者数が6人となっているが少ないのではないか。 	山岸課長	<ul style="list-style-type: none"> ・この6人は就職面接会の参加者の中でジョブカフェのブースに来て相談をした人の数。面接会・交流会の全体参加者数については、平成30年度の交流会は54名、令和元年度の交流会は57名。外国人材受入支援課で相談窓口を設けているため、外国人材受入支援課とも連携して対応していきたい。